

施工方法

■ 両面テープ併用接着工法

パロアレリーフパネルは、両面テープ併用接着工法を標準工法としています。

施工手順

① 下地の確認と清掃

- ・下地が十分に乾燥し、油分、ゴミ、ほこりなどの付着がないことを確認してください。
- ・ビス頭など、表面に突起物がないことを確認してください。
- ・下地面に不陸がなく、下地面の水平・垂直が正確であることを確認してください。

② 墨出しと割付

- ・寸法や形状に合わせ下地に墨出しをし、割付を行います。
- 下地材の割付位置とパロアレリーフパネルの割付位置が同じにならないように注意してください(同じ位置でジョイントがあると、段差が生じる可能性が高くなります)。

③ 下地処理

- ・パロアレリーフパネルと下地材との接着力を確保するため、プライマーを下地材に塗布し、30分以上乾燥させます。

④ 底目地テープの貼りつけ(目透かし目地を大きく取る場合)

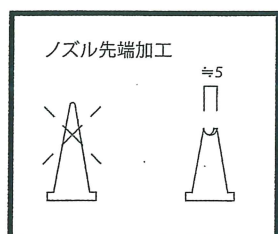
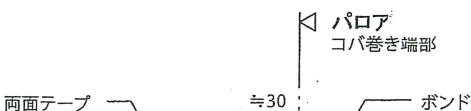
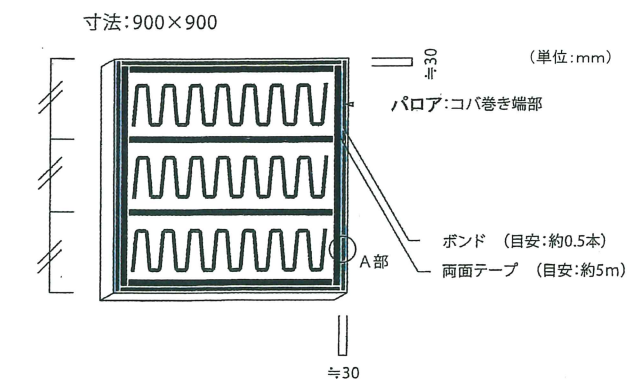
- ・パロアレリーフパネルと同色系のシートを目地部に貼りつけます。

⑤ 両面テープの貼りつけ

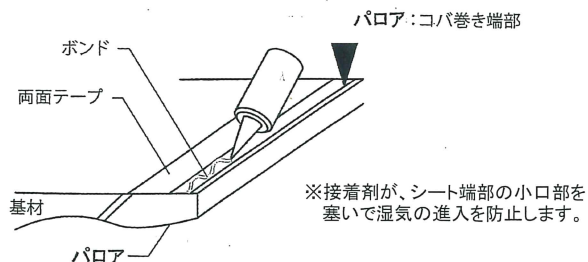
- ・所定の位置にテープを貼りつけ、ローラーなどで強く押さえ込み密着させます。

⑥ 接着剤の塗布

- ・接着量を確保するため、ノズルを二方向よりカットし所定の位置に塗布します。



- ・パロアレリーフパネルは、パネルの裏面までパロアを巻き込んでいます。ボンドは下図の要領で塗布してください(図:A部)。



⑦ 両面テープの剥離紙除去

- ・両面テープの本体がパロアレリーフパネルからはがれないように注意しながら剥離紙をはがします。

⑧ パロアレリーフパネルの貼りつけ

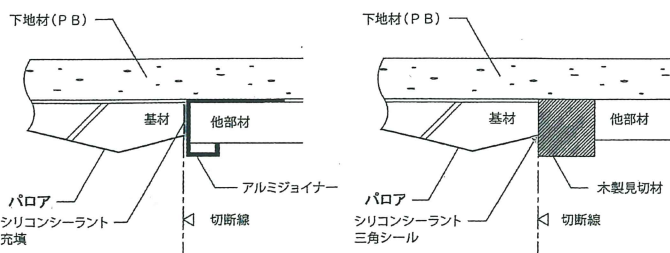
- ・接着剤塗布後、10分以内にパネルを所定の位置に貼りつけます。
- ・両面テープの位置を手で押さえ込むように加圧し、十分に密着させます(パロアレリーフパネルをずらすなどの貼り修正ができないのでご注意ください)。

⑨ 養生

- ・接着剤が硬化するまでに、夏季は1日以上、冬季は3日以上養生を行います。

切断・小口処理

パロアレリーフパネルは基本的には切断しないようにしてください。やむをえず切断する場合は、ジョイナーや見切り材を使用し、シリコンシーラントなどで切断面でのシートの浮き上がりを防止してください。



推奨商品

両面テープ併用接着工法として、以下の商品を推奨しています。

	コニシ(株)製	セメダイン(株)製
両面テープ	TMテープ R1-25(標準用) TMテープ W1-20(低温時用)	ボードテープ310
ボンド	ボンド MPX-1	ボードロック310
プライマー	シールプライマー#25	MP1000

現場の条件に応じ、商品をご検討ください。

メンテナンス方法

- ・日常的な汚れは薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布、スポンジタワシなどで洗浄してください。クレンザーなど研磨剤が含まれている洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。表面のキズの原因になります。
- ・洗浄の際、シンナーやトルエンなどの有機溶剤は使用しないでください。表面の劣化を招きます。
- ・清掃後、表面に残った洗剤は水できれいに除去してください。